

～ 夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す 15 歳の育成 ～ 幼小中一貫教育を推進！

未来へつながる通信 vol.179

発行：令和6年12月6日 袋井市教育委員会

「地域の子どもたちの命を守るためにどんなことができるか」 南の丘学園で学校運営協議会を開催・「熟議」を実施

学校運営協議会とは

保護者や地域住民の意見を学校運営に反映し、地域とともにある学校づくりを実現するための仕組み

熟議とは

多くの当事者が「熟慮」と「議論」を重ねながら、課題解決をめざして行う対話



【「地域の子どもたちの命を守るためにどんなことができるか～防災・防犯・交通安全～」をテーマに熟議をする様子】

学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域とともにある学校づくりを～地域総がかりで子どもたちを支援～

● 学校運営協議会を設置している学校 = コミュニティ・スクール ●

学校運営協議会を設置している公立の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等のことを「コミュニティ・スクール」と言います。コミュニティ・スクールは、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む「地域とともにある学校づくり」のための仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かしながら、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めています。

● 幼小中一貫教育とコミュニティ・スクール ●

袋井市では、「幼小中一貫教育」にも力を注いでおり、保幼こ・小・中の教員が連携し、目指す子供像「夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す 15 歳」の実現を目指しています。各学校では、コミュニティ・スクールの仕組みを生かし、教員・保護者・地域住民が連携・協働することによって、一貫教育の一層の充実を図ったり、教員だけではできない子どもたちの学びを実現させたりしています。

● 南の丘学園の学校運営協議会～「熟議」を実施～ ●

11月7日（木）に南の丘学園で開催された学校運営協議会では、「地域の子どもたちの命を守るためにどんなことができるか～防災・防犯・交通安全～」をテーマに熟議が行われました。学校運営協議会委員（地域の方々・保護者・教員）が、地域の子どもたちのために何ができるか、地域の子どもたちは地域のために何ができるかを考え、議論しました。「地域と学校の日頃からの連携やコミュニケーションを大切にしたい」「地元の子どもたちの力はとても大きい。子どもたちを信じて任せる取組はできないか」といった地域の方々の意見は、南の丘学園の今後の学園運営、各校の学校運営に活かされています。

「未来へつながる通信」は、袋井市が進める「幼小中一貫教育」について、考え方や関連する取組の様子などを、お知らせするために発行しています。

袋井市教育委員会 教育企画課 未来の教育推進室 86-3221

